

郷の集い

行芸者 音日 9月1日
文任田 行4月
発会責田 発和昭3月

愛護

ニュートンに学ぶ

学校長 北川耕造

ある日、ニュートンは庭に出ていつものように月と地球との問題を考えていました。ヘ太陽のまわりを、地球や金星や火星などがまわるように、地球のまわりを月がまわつていろ。▼
へまわつていらといふことはどういうことなのだろうか。▼
へどうしてうごくのだろうか、夏と冬で太陽の通りみちがちがうのは、地球が太陽のまわりをまわる軌道が円でないからだろう。▼
へ月の場合もおなじに考えられ、▼
へでもうごくものならばどうして飛びきつてしまわないのだろうか。▼
へ地球と月との間にはなれていても、なだかの力がはたらき合うのだろうか。▼
へガリレオの力学対話では、重いものと軽いものと比べ、おなじ速度で落下するといつて、いるが、どうしてなのだろうか。▼
へすべてのものは、力をくわえなければうごかないのに、高へところのものが下へ落ちるといふのが下へ落ちるにあるものには、下へ落ちとそろとする力がはたらかなければならぬ。▼
へそれが、その時、リングの実が一つ、ボト

りと落ちた。▼
ヘルингが下へ落ちた。▼
へいままで、高いところにあるものは、下へ落ちると考えていたけれども、地面と引ひばると考えたうどうだろう。▼
ヘルингに力をおよぼすのは、地面と考へてみよう。地面とはなんだろう。▼
ヘルスソープの地面でも、ガリレオが実験したピサの地面でも、下へ引ひばる力がある。▼
へ地面と考へたのにはこまち。ウールスツーとピサと同じもの、そらだ、地球だ！ 地球とリング、地球と月と考えよう。▼

藩分長々と引用しましたが、以上は学校の図書館にもあるニュートン伝の一節です。作語だという人もありますが、そうではないと思ひます。偶然とはいえ、ふと落ちたリングとのめぐり合ひが、万有引力の発見に大きな役割をはたしたことは事実のようです。偶然とはいえ、リングが木から落ちたのを見た人は、かそれ切れないので、いろいろな人がいりますが、しかし、エートン以外の人見こ

つけることのできないところに問題を見つけます。そして強烈な精神の集中が始まるのです。この頃のニエートンには外に解決しなければならない問題がたくさんあります。発表までに十三年もかかりましたといいます。

或人がニエートンたつのような大発見をなされたのには、さだめし人の知らない工夫があつたことでしょう」とたずねたところ、「いや、特別な工夫はしていません。ただいつも疑問別や研究問題が心に浮かぶと、始終そのことを頭からはずさず考え続けただけですよ。」と答えています。

ニエートンが食事を忘れたとき、「卵のかわりに時計をゆでたりした話もうそではないでしょう。私たちも日常生活の機会に「はて石」とか、「なぜにこう」と思うことなくわします。それを研究し発展させたら、すばらしい結果が生まれるかもしないのに、うつかり見逃していいのではないか。」

ゲーテも「天才とは努力することのできる才能である」と言いました。学問に王道なしです。なぜかといふ疑問を大切にし、でもやし続けるところに、明るい未来が開けるのだと思ひます。

二年間をかえりみて

会長坪田万右衛門

今日もまた畠かと見上げるうす暗い墨の空

つけたかと思えば、テカテカに水ります。た道をおそろおそろ通る日の連続より、やつと開放されてようやく春めいて参りました。会員の皆様には毎日どのようにお過じでしょうか。

一昨年の四月末就着の私が会長の大役をお受けしてから、はや二ヶ年が夢のように過ぎ去つて、任期も余すところ僅になりました。この間、委員の方々や会員の皆様方のお力添えによりまして、どうやら大過なく任期を終ることができましたことを、厚く御礼申し上げます。

振り返つて見ますと、一昨年の秋には農協生命共済の加入を頂き、年々減少する簡易保険の手数料を補うことができまして、演壇やトランペットを購入して立派な成果をあげることができました。部落懇談会につきましては、一昨年より父親の参加を願つて復活しまして、大変よい成績を得たものと信じております。

日本経済の発展は著しく伸びましたが、社会教育につきましては先進國に比べてたち遅れていますように思ひます。よくべ身一如とか物心両面とかの言葉を聞きますが、物と心が常に車の両輪の如く成長発展すること希望してやみません。

会員の皆様、絶大なるお力添えを長い間賜わつましたことを、ここに謹んでお礼申し上げましてご後援といにします。

第41号

郷の集い

卒業大思う

河間 吉江 まさ子

卒業生のアンケート

光陰矢の如し　六年前の桜の花が咲く頃、ラ
ンドセルを背負つて、一年生に入学したのもこ
の間のように思われるのに、もう卒業式を迎え
るとほんとうに夢のようです。

卒業生に、在学中の思いでや、将来の希望等五項目を書いて貢いましたので、ここに紹介いたします。

一、在学中一番榮しかったこと
修学旅行で大仏様を見学したこと

大野での合宿のときふとんの中で、み
吉江憲都

在学中一畚築しかつたこと
修学旅行で大仏様を見学したこと
大野での合宿のときふと
んなと遊んだこと

修学旅行でホテル泊ったこと

吉江孝行

浮城子

龍田敏一

五年生のとき 大野

行フテ
第

火野へ今宿へ行つて、

二三〇

ソフトボール大会で

卷之三

五年のとき卓球大会で

卷之三

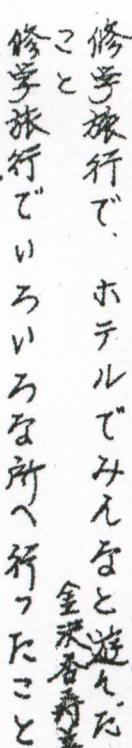
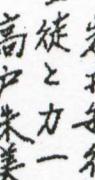
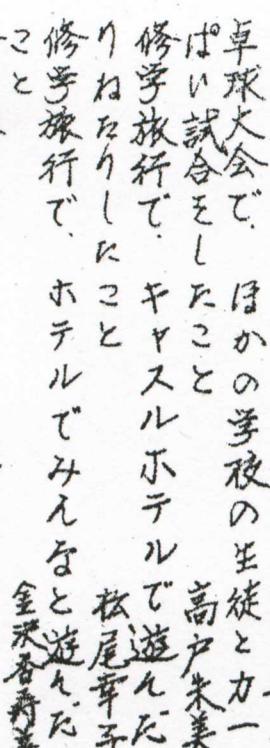
草木の歌
ほかの美

岩井文庫

中学校へ進学いたしました。何かと小学校

思いで深い母校を去るに当たり、親子共に長い間お世話になりましたことを、心から御礼申し上げます。

中学校へ進學いたしましたのも、何かと小学校へよせて頂く機会もあろうかと思ひますが、その節はいつまでも変わらぬご慈愛と、きびしい躰のご指導を賜わりますよう、心からお願ひ申し上げます。



白崎加代子
錦本千賀子

三年間も受持ちの先生と勉強したこと

大野へ合宿に行つて川で遊んだこと

山崎三千代

五年生のときの運動会で、初めて一等になつたとき

松樹玉枝

二、在学中一番苦しかったこと

吉江憲郁

勉強が多くて遊べなかつたこと

吉江憲郁

夏休み中の暑い日に、ソフトボールの練習をしたこと

吉江憲郁

ソフトカーとソフトボールの練習

吉江憲郁

大年生の終りになり、勉強が多かつたこと

吉江憲郁

五年生のとき二十五米泳げないので

吉江憲郁

夏休みに高熱を出し、十日ぐらいいも続いたこと

吉江憲郁

水泳の練習で、息づぎがうまいこと

吉江憲郁

水泳の練習で、息づぎがうまいこと

吉江憲郁

運動会のマラソンの練習をしたこと

吉江憲郁

水泳の練習で何回も続けて泳がされたこと

吉江憲郁

三、中学校でやつてみたいたこと
友だちをたくさんつくりたい

吉江憲郁

野球部にはりつて選手になりました

吉江憲郁

草球をしてた。友だちを持ちたい

吉江憲郁

友だちをたくさんつくり、親友をつく

吉江憲郁

ブレスバンド部にはりつたいた

吉江憲郁

力のつく競技、けんか

吉江憲郁

サッカーの選手になつて

吉江憲郁

テニスをしたい

吉江憲郁

友だちをたくさんつくり、テニスを

吉江憲郁

テニスをしたい

吉江憲郁

テニスを思ひきつてしまつた

吉江憲郁

白崎加代子

白崎加代子

吉江憲郁

山崎三千代

山崎三千代

四年生になつてから受持ち先生にいじめられたこと

吉江憲郁

郷の集い

四、今後せつたいしたくないこと
みんなのめいわくなること
クラブを勝手に休まない
自分で悪いと思つたことはし
学校を休まないようkしたい
上級生相手のけんかをしない
けんかをやつたくない
人をだましたり、悪いことは

吉江蕙郁

小嶋耶徳
岩井敏行

大工になりたい
スポーツをやってみたい
みんながいいやがっていなは
んでやつていただき
人々のためになるような

松尾翠子
中元一太郎

歌手になりたい
人々のためにつくして
デザイナーになつて
だしたい
保母さんになりたい
新しい

山崎三千丈
松樹玉枝

子どもの日記から

学校では毎日子ども達に日記を書かせ
といふ。どの学年も毎日受持先生に見
て頂きますが、毎週一回は校長先生に見
て頂きます。

このように子どもに日記を書かせるよ
うになつてから、もうずい分年数がたち
ましたので、今では子ども達も大へんじ
よう。すなつてさまで。

そこで参考になると思われる日記を紹
介したいと思ひます。

高产米美
松尾幸子
館本千賀子
金沢香舟
白崎加代子
山崎三千代
松樹玉枝
龍田敬一
近藤健二

五 将来自分がやりたいこと
エンジニアになくたい
自転車で世界一周としてみたい
みんなの好かれる人になくなくたい
大きくなりつて、人々のためになるようにな
したい
アルプス山脈に登つてみたい
登山家になり、世界の山々を制服してみたい

吉江憲郁
吉江孝行
龍田敬一
篠崎利美
篠崎修
近藤健二

二年おかだみか子
弟が、何か作つていろいろのを見て、何、作つてる?」といふと、

だ。当ててみれ」と、いつたので、電話の
「うーん、電話?」と、いうと、当たりだと
いいました。弟は、作つたものは、何でも

作ります。とくにロボットが多いです。何でも
しばらくして、電話ができました。ベルのか
わいくには、すぐなる、かわいいのができました。
わたしは、こんなにじょうくすに考えられました。
弟に教えてほしいくらいです。こんど
みんなに見せてあげたいです。

三年 小嶋 真

今日、体育でラインサッカーをやった。
さいごに、とつちやんがけつたら、電気がお
ちやんたちとやつた時は、一点のさで負けた。元
入つてしまつた。ぼくは、しまつた頭をふ
せればよかつたのに。それでしてもあのキ
ツフはきまつたな。一回で、ドカーンだもん
な」と、いいました。でもあの一点おしいと
思つた。そしてぼくのはんせいは、ボールを
上へ上げて、ホーフランになつたことです。
先生に言われると「しまつた」と思つてドツ
キりしました。ゴルキンペーの時、ゆかく
さんがけらと、びくびくします。それは球が
強いからです。ぼくは、「ゆかくすればいい
のにな」と言つた。ほくは、これからうまくボールを使い、う
まければさつといい所にいくだろうと思つ

これがうそうしょうと思つた。負けたの
は、とてもくやしいと思いました。

久しぶりに、しきぱうを持つた。なん
となく今までの感じとはちがい、重くか
かんじられた。それは、きつとあと一歩
まで別れなければならぬ」と思つせいた
ろう。それ以降今までにござらなかつたとい
いもあつて、どうも調子がつかめにくく
一、二度まちがつてしまつた。

三月にある学習発表会では、小学校の
思いやりによるようしつかりがんばりだ
と思つ。

設備後援会からの寄贈報告

トランペット	大個	一一〇〇
トロンボーン	一・	二七〇〇
防球スタンド	一台	一〇〇〇
合計		一五七〇〇

多額の品物を寄贈戴きました、誠に有難
とうござります。

あとがき

この度の郷の集いは、卒業特集号と考
えながらましたべ、何分思うにまかせず、
内容の乏しいものとなりましたことを、
深くお詫びいたします。

事務局